

# 農業集落排水事業の汚泥処理への対応は

新たな施設整備を含め、各処理組合の負担削減に取り組んでいく



やま かみ かつ よし  
**山上 勝由**  
自由民主党田原市議団



## 農業集落排水事業の汚泥処理について

- 問** 農業集落排水事業の使用料の算定方法を従量制にした経緯は。
- 答** 費用に対して使用料収入が大きく不足するため、はじめに使用料体系を統一し、2年後に全体を改定する2段階での改定とした。
- 問** 使用料の算定方法を改定したことによる農業集落排水事業の組合員からの意見は。
- 答** 「下水道使用料が高くなった」「汚泥は地元で処理しなくても良いのか」という意見や質問を頂いた。
- 問** 農作物を育てる際、農業用水を使わずに大量の水道水を使用して下水道へ排出していない場合、下水道使用料を控除する手続きについての周知は。
- 答** 農業集落排水の使用ユーザー全てに個別の案内を郵送しており、その中で控除方法について周知している。今後も機会を見て、適宜周知していく。

- 問** 農業集落排水事業の汚泥処理について、どのような方法を検討してきたのか。
- 答** これまでに、汚泥の減量化、燃料化及び広域バイオマス活用などの汚泥処理方法を検討してきた。
- 問** 平成29年3月議会で「市が汚泥処理を行う時期に合わせて、農業集落排水の使用料を公共下水道と同様に、水道使用量に比例した従量制に移行していく」と答弁しているが、汚泥処理の課題について、今後の対応は。
- 答** 今回の改定を検討する以前から新たな処理方法を検討したが、実現には至っていない。汚泥の資源循環の形を取りながら、新たな施設整備を含め、各処理組合の負担削減に向けて速やかに取り組んでいく。

## 各世代への健康寿命の延伸について

- 問** 成人期における健康寿命延伸に向けた取り組みの課題は。
- 答** 各種健康診査の受診率が年々低下していることや各事業への参加者の減少、肥満者の増加が挙げられる。
- 問** 若い世代の受診率が低いことが課題とのことだがその要因は。
- 答** 若い世代は体の不調が少ないことから健康への関心が薄いこと、日々忙しく自分の健康を後回しにしてしまいがちであることなど、健康意識が低いことが推測される。
- 問** 健康づくりは生涯を通じて推進していくことが健康寿命の延伸につながると思うが、各世代の健康づくりの連続性について、市はどのように考えているのか。
- 答** 健康づくりの啓発や健康診査、保健指導等に連続性を持たせられるよう、必要な対策を関係機関や関係部署と協議していく。



ないとう きくえ  
**内藤 喜久枝**  
自由民主党田原市議団



**成人期における健康寿命延伸に向けた取り組みの課題は**  
各種健康診査の受診率の低下や各事業への参加者の減少、肥満者の増加が挙げられる